

# 都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



## 【目次】

・ 第3回定時評議員会の開催	P 1
・ 平成26年度 第1回都市基盤施設整備見学会・ 都市みらいプロジェクト説明会・ 第4回官民連携による都市と都市インフラの再構築研究会の開催	P 2
・ 第9回まち交大賞について	P 4
・ 平成26年度まちづくり情報交流協議会全国大会 (第10回定期総会、第9回まち交大賞表彰式及び講習会)の開催	P 5
・ 機構の活動状況	P 6

## § 第3回定時評議員会の開催

去る6月23日、第3回定時評議員会を都市計画会館会議室において開催いたしました。当機構理事長挨拶、国土交通省和田都市計画課長の来賓挨拶の後、下記の議案が審議され、原案どおり議決、承認されました。

また、下記の報告事項についての報告がありました。

当日の議題は以下のとおりとなっております。

### ○定時評議員会

議 案1. 平成25年度事業報告(案)及び決算(案)について

議 案2. 公益目的支出計画実施報告書(案)について

議 案3. 理事の選任について

報告事項1. 平成26年度事業計画及び予算について

報告事項2. 基本財産を定める件

報告事項3. 財産運用規程の制定について

報告事項4. 賛助会員の状況について



## § 平成26年度 第1回都市基盤施設整備見学会・都市みらいプロジェクト説明会・第4回官民連携による都市と都市インフラの再構築研究会の開催

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議（都市みらい推進機構）では、皆様方が関心を持っておられるプロジェクトを選定し、現地にて、当該プロジェクトのキーマンから詳しい説明をしていただく交流見学会（プロジェクト説明会）を行っております。

今回は川崎市様のご協力により『殿町国際戦略拠点キングスカイフロント』の見学会・説明会を7月17日に実施しました。『殿町国際戦略拠点キングスカイフロント』は、未利用公有地を活用した大都市地域での典型的な官民連携プロジェクトであり、「官民連携による都市と都市インフラの再構築研究会」においても見学希望地としてリクエストがありましたので、合同での開催といたしました。

キングスカイフロントは、川崎市殿町地区（羽田空港の南西、多摩川の対岸）に位置しています。

国が主導となり、地方、民間と一体となって規制改革等の施策を総合的かつ集中的に推進する国際戦略特区に指定されており、科学雑誌「nature」や「Science」にも特集が組まれ国内外から数多くの視察が訪れている注目のエリアです。開発エリアは約40haで、現在も敷地内において工事が行われており、ライフサイエンス・環境分野における世界最高水準の研究開発から新産業を創出する「国際戦略拠点」の形成を目指して開発が進められています。

会員の皆様のご関心も非常に高く、募集開始早々定員に達し、35名の皆様にご参加いただきました。

当日は川崎生命科学・環境研究センター（LiSE）の共用施設である会議室に集合し、臨海部国際戦略室 担当課長 山崎浩様から、殿町国際戦略拠点キングスカイフロントについてのビデオ上映、概要のご説明および質疑応答の後、川崎生命科学・環境研究センターの内部空間をご案内いただきました。

その後、隣接する実中研再生医療・新薬開発センター（CIEA）に移動して公益財団法人実験動物中央研究所 理事長 野村龍太様から事業・研究概要のご説明をいただき、施設内部を視察しました。



【川崎市／山崎担当課長による概要説明】



【実験動物中央研究所／野村理事長】

### ■殿町国際戦略拠点キングスカイフロント

キングスカイフロントに至る歴史を振り返るとともに、川崎が牽引するライフサイエンスや環境技術の取組みを紹介するコンセプトビデオを視聴したあと、キングスカイフロント全体概要・都市計画と土地区画整理事業の概要・整備スケジュール・キングスカイフロント形成のイメージ・国際戦略拠点の推進・支援制度についての説明を伺いました。

- 川崎臨海部は国の施策である特別区域や緊急整備地域に指定されている。「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」「特定都市再生緊急整備地域」に指定。



【キングスカイフロントの敷地】



- 首都圏中心部、国際貿易港を有する京浜臨海部に位置し、羽田空港にも近接。東京湾アクアライン、国道1号等広域幹線道路網にも接続する好立地で国内外へのスピーディーなアクセスが可能。
- 基盤整備：UR都市機構・ヨドバシカメラ・川崎市等の所有地を、UR都市機構・川崎市の施行でH22年3月からH25年9月まで殿町三丁目土地区画整理事業として行い、順次土地利用及び施設立地が進められている。
- 中核施設：実中研再生医療・新薬開発センター、川崎生命科学・環境研究センター、ものづくりナノ医療イノベーションセンター（施設整備中）
- 決定施設：国立医薬品食品衛生研究所、ジョンソン・エンド・ジョンソン、日本アイソトープ協会、神奈川県ライフイノベーションセンター、クリエートメディック



【ものづくりナノ医療イノベーションセンター】

### ■川崎生命科学・環境研究センター（LiSE）

官民の複合施設として整備され、H25年3月から運営が開始されています。「産学公民の垣根を越えた研究者たちの相互交流」をテーマに、ライフサイエンス・環境分野の研究開発拠点の推進を図るために整備された官民の複合施設で、「川崎市環境総合研究所」「川崎市健康安全研究所」などのほか、海外展開を目指す川崎市内の中小企業を支援する団体や、大学など、多岐にわたる団体が入居しています。建物は研究者と研究成果を守る免震構造で、4階の民間ラボは利用者のニーズに合わせられるよう、スケルトン状態から内装工事を行って入居できるようになっているそうです。

多摩川、羽田空港を望む開放的なリフレッシュスペース（4階）や、研究者をつなぐためのコミュニケーションスペース（3階）である共用打合せスペースを視察しました。



【LiSE3F および 4F 共用スペースの視察】



【LiSE4F から見える多摩川対岸の羽田空港】

### ■実中研再生医療・新薬開発センター（CIEA）

殿町地区の拠点形成を先導する役割を担う中核施設の第1段階として平成23年7月から運営が開始されています。世界初の遺伝子改変霊長類等の開発やその実用化モデルとiPS細胞を使った再生医療の研究、脊髄損傷や脳梗塞の再生医療の実現や、革新的な医薬品の開発に向けた研究が行われています。長年かけて開発された研究用のコモンマウス（サル）やヒト化マウスの飼育フロアを視察しました。また、理事長室からはキングスカイフロントの敷地、隣接し現在工事中の「ものづくりナノ医療イノベーションセンター」（iCON）などを見せていただきました。



【CIEA での視察風景】

官と民の連携、多摩川をはさんだ両岸エリアの連携、異業種の連携など、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックも視野にいれて、国際的ビジネス拠点の形成や創薬分野等における起業・イノベーションを通じた国際競争力のある事業の創出に、大いに期待が高まりました。



## § 第9回まち交大賞について

### ◆ まち交大賞とは：

まちづくり情報交流大賞（通称：まち交大賞）は、都市再生整備計画に基づくまちづくりにおいて、優良な計画が策定され、また事業の実施、評価、改善において優れた取り組みを行った地区を対象として表彰し、関係者の榮譽をたたえとともに、受賞地区の事例を全国に幅広く紹介することで、地域の創意工夫を活かしたまちづくりを促進することを目的として、主催：まちづくり情報交流協議会・（一財）都市みらい推進機構、後援：国土交通省 として、平成17年度以来実施しているもので、今回で9回目を迎えました。

### ◆ 各賞の構成：

第9回まち交大賞は、前回に引き続き、下記のとおりとしました。

#### I. 完了地区

##### ① まち交大賞（国土交通大臣賞 1地区）

地域の創意工夫を活かしたまちづくりの取り組みがなされ、都市再生整備計画の策定、事業の実施、事業の評価等において優れた地区で、全国の都市・地域再生のモデルとして特に優秀な地区

##### ② まちづくり達成大賞（まちづくり情報交流協議会会長賞 1地区）

まち交大賞に次いで、上記の観点から優秀な地区

##### ③ まちづくり効果賞（3地区）

まちづくり達成大賞に次いで、上記の観点から優秀な地区

#### II. 計画地区

##### ① 創意工夫大賞（都市みらい推進機構理事長賞 1地区）

都市再生整備計画において、テーマの設定、まちづくりのアイデア、計画策定のプロセスの3つの観点から特に優秀な地区

##### ② まちづくりシナリオ賞（3地区）

創意工夫大賞に次いで、上記の観点の中で特徴があり、優秀な地区

### ◆ 受賞地区の選定：

#### 1. 対象とする地区

① 完了地区：平成24年度までに都市再生整備計画事業が完了した地区

② 計画地区：平成25年度において都市再生整備計画事業を実施中の地区

#### 2. 応募及び選定結果

今回、対象地区の基準を満たした全国の市区町村から、完了地区13地区、計画地区12地区の応募があり、3月25日に開催された審査委員会において下表のとおり、受賞地区が選定されました。

### ◆ まち交大賞（国土交通大臣賞）の表彰について：

去る6月16日、まちづくり月間中央行事「まちづくりと景観を考える全国大会」において、まちづくり月間関係の国土交通大臣賞の表彰式が開催されました。今回のまち交大賞（国土交通大臣賞）を受賞された「留辺蘂町温根湯温泉地区（北海道北見市）」を代表して、北見市 櫻田市長 に賞状の授与が行われました。



＜まち交大賞表彰式  
北見市 櫻田真人 市長＞

第9回まち交大賞 受賞地区一覧

賞	地区名	受賞者	概要
まち交大賞 (国土交通大臣賞)	留辺蘂町温根湯温泉地区	北海道 北見市	観光客がゆったりと温泉街で癒され、くつろげるような景観の整備と豊かな森林をはじめとした自然の観光資源と共生するような農村公園の緑化整備を行うことで、来る人、住む人が自然とふれあい、心温まる場の実現を図る。
	和倉温泉地区	石川県 七尾市	地域住民、商店街、旅館が主体となって、住む人・訪れる人が楽しく行き交い、にぎわいある温泉街の再生に取り組み、街並みや景観の向上を図るため景観協定が生まれ、50年後100年後を見据えたまちづくりが実現。
創意工夫大賞 (都市みらい推進機構理事長賞)	和合地区	山形県 朝日町	地域の衰退が進む中で、小学校の閉校が転機となり、自分たちの地域を何とかしたいという思いから、地域住民が主体となったまちづくり活動が軸動、「和合地域づくり計画」の実現のため、地域と行政が一体となった取り組みを実施。
まちづくり効果賞	柿田川周辺 東南部地区	静岡県 清水市	柿田川公園などの豊かな自然環境の保全と活用の機運の高まりのなか、堅実且つ費用対効果の高い事業を中心に、盛りださんの整備で、想定外の相乗効果や波及効果が生まれ、指標の目標値を大幅に超える達成度を実現。
	武生中心市街地地区	福井県 越前市	約1300年近く越前地方の中心市街地として栄えた歴史のあるまちで、地域固有の歴史や文化と人々の生活が密接に結びついた、賑わいと魅力のある「まちの顔」の形成を住民等との協働により実施。
	緑ヶ浜周辺地区	福岡県 新宮町	まちの顔となる中心市街地をつくるにあたり、浄化センターの遠慮施設イメージを払拭させて「環境共生の核」とし、さらにJR駅を核と、整備することによって歩いて暮らせる「コンパクトシティ」の核と位置づけられた。
まちづくりシナリオ賞	下川市街地区	北海道 下川町	森林共生低炭素社会の構築を基盤とし、森林総合産業の創造を目標に、市街地中心部に低炭素まちづくり計画区域を定め、コンパクトなまちづくりを推進し、環境に係る取組と連携・連動した「まちの顔づくり・にぎわいづくり」を目指す。
	とくまろ地区 <第2期>	新潟県 十日町市	震災の影響や経済状況の低迷により廃業した工場や商業施設の跡地を活用し、公益施設や居住施設のまちなかへの集積を行う。跡地活用にあたっては、民間事業者を対象とした事業公募を行い民間の資本投資を促進する。
	柳尾地区	愛知県 碧南市	子どもからお年寄りまで、みんなが安心して生き生きと暮らせるまちを目指して、『災害に強く、多世代が安心・安全・快適に暮らせる生活の土台づくり』『豊かな環境づくり』『福臨に訪れたくなるまちの顔づくり』を推進する。



## § 平成26年度まちづくり情報交流協議会全国大会（第10回定期総会、第9回まち交大賞表彰式及び講習会）の開催

「都市再生整備計画事業」を活用して、地域の創意工夫を活かしたまちづくりの推進を目指す地方公共団体が集う「まちづくり情報交流協議会」の全国大会が、7月15日（火）東京都港区虎ノ門の日本消防会館において開催されました。

同協議会定期総会では会長の野志克仁松山市長並びに来賓の国土交通省都市局 廣瀬隆正 市街地整備課長にご挨拶をいただいたあと、平成25年度事業報告及び収支決算、平成26年度事業計画及び収支予算、並びに役員改選について審議を行い、承認を得ました。

また、総会に続き、国土交通省 望月明彦 大臣官房技術審議官をお迎えして第9回「まち交大賞」の表彰式を実施し、最後に下記のテーマで講習会が行われました。

### 【講習会におけるテーマと講師】

1. 「都市再生特別措置法の改正と都市機能立地支援事業等の創設について」  
 講師 国土交通省 都市局 都市計画課 交通計画係長 徳田隆宏 氏  
 国土交通省 都市局 市街地整備課 企画係長 熊木雄一 氏
2. 「商店街等の戦略的ストリート形成のための「賑わいづくり施策発見マニュアル」について」  
 講師 国土交通省 国土技術政策総合研究所 都市施設研究室 主任研究官 吉田純土 氏
3. 「留辺薬町温根湯温泉地区の事業概要について」（第9回まち交大賞受賞）  
 講師 北見市 教育委員会 留辺蕊教育事務所長 若杉鉄夫 氏



<第10回定期総会>



<第9回まち交大賞 各受賞者>



<講習会>



## § 機構の活動状況

日	6月	日	7月
6	第6回理事会	18	今後の市街地整備事業のあり方に関する検討会（第2回）
9	今後の市街地整備事業のあり方に関する検討会（第1回）	23	今後の市街地整備事業のあり方に関する検討会（第3回）
23	第3回定時評議員会	30	今後の市街地整備事業のあり方に関する検討会（第4回）

### 【機構関係諸団体】

#### 《都市地下空間活用研究会》

2	テレビ朝日取材	1	大阪分科会リーダー打合せ
2	地下街プロボ打合せ	2	地下街防災業務打合せ
4	第28回評議員会、第27回定時総会、地下研・UIT 合同記念講演会	3	千代田区調査
5	地下街プロボ打合せ	7	地下街打合せ
9	中央区説明	8	国交省地下街打合せ
10	テレビ朝日取材	10	事業部会・国際交流部会合同会議
11	日経	11	エンジニアリング協会
12	三菱地所打合せ	15	エンジニアリング協会委員会
17	テレビ朝日取材	16	地下利活リーダー会
19	千代田区打合せ	17	千代田区打合せ
		24-25	高知・地下空間と防災講演
		30	土木学会地下シンポ

#### 《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

4	第43回評議員会	1	第26回技術研究発表会 予約申込締切
4	第27回通常総会	1	第21回交流展示会 募集開始
4	H26年度第1回記念講演会 ＜2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催計画概要について＞	2	第26回技術研究発表会 追加募集開始
4	H26年度第1回意見交換会	10	H26年度第1回都市基盤施設整備見学会・都市みらいプロジェクト説明会・官民連携による都市インフラの再構築研究会 H26年度第1回見学会 募集締切
9	第26回技術研究発表会 募集開始	17	H26年度第1回都市基盤施設整備見学会・都市みらいプロジェクト説明会 ＜殿町キングスカイフロント＞
12	第21回技術交流部会・第8回展示委員会	17	官民連携による都市インフラの再構築研究会 H26年度第1回見学会 ＜殿町キングスカイフロント＞
19	H26年度第1回都市基盤施設整備見学会・都市みらいプロジェクト説明会 募集開始	23	第27回技術研究発表委員会
19	官民連携による都市インフラの再構築研究会 H26年度第1回見学会 募集開始		

#### 《まちづくり情報交流協議会》

2	メルマガ第3号発出	15	平成26年度まちづくり情報交流協議会全国大会
6	メルマガ第4号発出		
13	メルマガ第5号発出		
16	まちづくりと景観を考える全国大会 まち交大賞パネル出展		

### (一財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区関口1-23-6  
 プラザ江戸川橋ビル201号  
 電話 03-5261-5625  
 FAX 03-5261-5629  
 Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい  
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・都市再生整備計画事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援
- ・エリアマネジメント企画 他